

4 水のあるくらしを守るために

昔、じゃ口から水が出るのがあたりまえではなかったことを動画で学ぼう！



二次元コードをよみてください



① 水が足りなくなった福岡市



福岡市が水不足になって、じゃ口から水が出なくなったことを知っているかな。

昭和53年と平成6年に福岡市が水不足になった時の様子と新聞記事

昭和53(1978)年6月9日 西日本新聞

ビタミンCが不足



調理に水使えぬ



昭和53年 給水車から給水を受ける市民の様子

平成6(1994)年9月1日 西日本新聞

半日断水 新学期様変わり



節水呼び掛け



昭和53年 干上がった南畑ダムの様子

少なくなったダムの水がなくならないように、水が使える時間を制限し、節水を呼びかけました。

人々は限られた水で生活しなければならず、トイレやお風呂、ご飯を作るときに水が使えなかったり、学校ではプールに入れなかったりと、日常生活にも影響が出ました。

その結果、昭和53年度の1年間で使われた水の量は、前の年度より約2,600万^{べい}m^{べい}減りました。これは、みずほPayPayドーム福岡およそ15個分にもなります。



(ねらい) 福岡市では、水不足のために水道をえる時間が制限されていた期間があったことを気づかせてください。また、水不足の原因は、6、7、8月に雨が少なかったことと関係があることに気づかせてください。

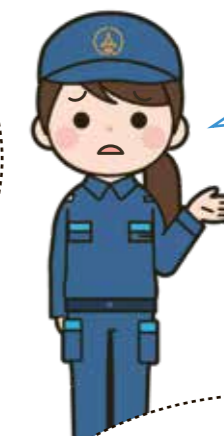
水道をえる時間が制限されていた期間 ()

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	日数
昭和33年(1958)													27日
34年(1959)													27日
35年(1960)													28日
36年(1961)													15日
39年(1964)													22日
41年(1966)													17日
42年(1967)													5日
50年(1975)													6日
53年(1978)													287日
54年(1979)													287日
57年(1982)													4日
平成6年(1994)													295日
平成7年(1995)													295日

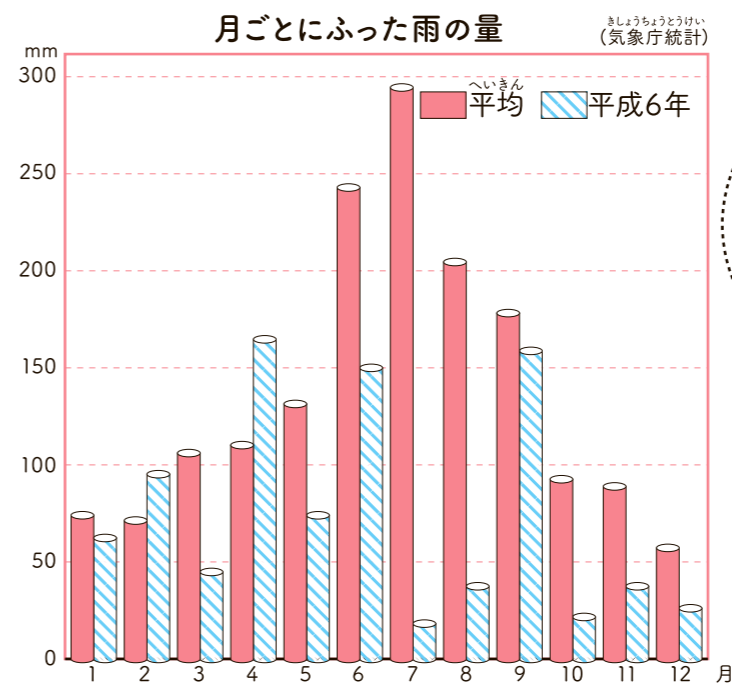
(福岡市水道局統計)



昭和53~54年と平成6~7年は、長い間水道が自由に使えなかったんだね。ふった雨の量と関係があるのかな？



最大で19時間も制限されていたんだよ。



平成6年にふった雨の量を見ると、プールやシャワーなど水をたくさん使う夏に雨が少なかったから、水不足になったんだね。でも、それだけなのかな？



(解説) ●月別降水量の平均の数値は、福岡管区気象台の平成3(1991)年~令和2(2020)年までの30年間の平均値です。